

協創推進の取組み状況

(令和7年1月時点)

協創とは

自治基本条例に盛り込みました

参画とは 市民が、まちづくりに主体的に参加し、行動すること
協働とは 市民・議会・行政が、それぞれの役割、責任のもとで、まちづくりのために、ともに考え、協力し、行動すること

多世代にわたる参画
多分野における協働

が創出されることで、

多世代の参画

- 子どもたち（小中学生）
- 若者（高校生、大学生、社会人）
- 現役世代・子育て世代（30代～50代）
- シニア世代（60代～）

多分野の協働

- コミュニティの醸成、地域の活性化
- 子育て、高齢、障がい、生活困窮者対策
- 教育、青少年の健全育成
- まちづくり、環境との共生

誰もがつながり合える（多世代共生型）コミュニティ

が生まれ、これが広がりをもつことによって、

様々な地域課題の解決 +
新たなまちの魅力や地域の価値が創造

されること

市の執行機関による必要な環境整備（地域で協創を実現するためのしくみ・しかけづくり）

3つの視点

地域を「支える」

地域を「つなぐ」

地域の中で「掘り起こす」

獲得目標

「協創」の取組み状況、今後の予定について共有し、各部署の取組みとの連携を図る

10月

11月

1月

3月

4月

8月

1月～

令和5年度

令和6年度

▼10/16 第八期
自治推進委員会から答申

経営会議
▼①11/21
▼②11/28

経営会議
▼③1/23
▼④2/6

経営会議
▼8/27

経営会議
▼1/8

○「協創」の考え方

○地域協創の
・3つの柱
・4つのしくみしかけ

○自治基本条例
改正案

パブコメ・
説明会3回

条例改正

組織改正

委員公募・選出

第九期自治推進委員会

▲8/1 自治基本条例施行20周年

図書館展示
広報1面

情報
整理

セミナー・
フォーラム

各エリアでの取組み

国土交通省「住宅団地再生に向けた住民活動等に関する調査事業」

中央大学・多摩大学・大妻女子大学・多摩大学附属聖ヶ丘高校・企業との連携

新規・レベルアップ
次年度以降予算検討

職員研修
(採用・昇任)

スキル
アップ

協創サポーター
新任フォロー研修

協創通信

あゆみ

参画手引き修正

協働指針改定

改正
自治法

リスケジュール

運用見直し

連動

総合計画
第六次

基本
構想

まちづくりの基本理念
「多摩市らしい地域共生社会の実現」

基本
計画

政策 C 施策 3
「多世代共生型のコミュニティづくりの推進」

① 自治推進委員会について



第八期
多摩市自治
推進委員会

- ▲第6次総合計画スタート
 - ▲自治基本条例改正
 - ▲協創推進室設置
 - ▲地方自治法改正

第八期
答申

「誰もがつながり合える
多世代共生型コミュニティを目指して
～多摩市版「地域協創」の
しくみ・しかけづくり～」

第九期多摩市自治推進委員(令和6年11月から2か年)
※2か月に1回開催

<地方自治に識見を有する者>

- 1 長野 基 東京都立大学都市環境学部 都市政策科学科 准教授 【○副委員長】
専門分野:行政学、地方自治論、ローカル・ガバナンス
都内自治体で行政評価等の委員会委員を歴任。無作為抽出型市民参加などの調査研究を行い、行政評価や市民協働の取組みに関わる。
- 2 中島 ゆき 大正大学地域構想研究所 主任研究員、大正大学講師
専門分野:社会学、地域経済学、政策学
地域のポジショニング分析を基盤とし、地域資源評価、地域分析などを中心に、自治体のまちづくりコンサルタントとして各地の地域活性化プロジェクトに関わる。

<市内全域を活動範囲としている団体の推薦する市民>

- 1 牛腸 哲史 多摩市立中学校PTA連合会 会長
- 2 山田 寛子 特定非営利活動法人多摩子ども劇場 副理事長

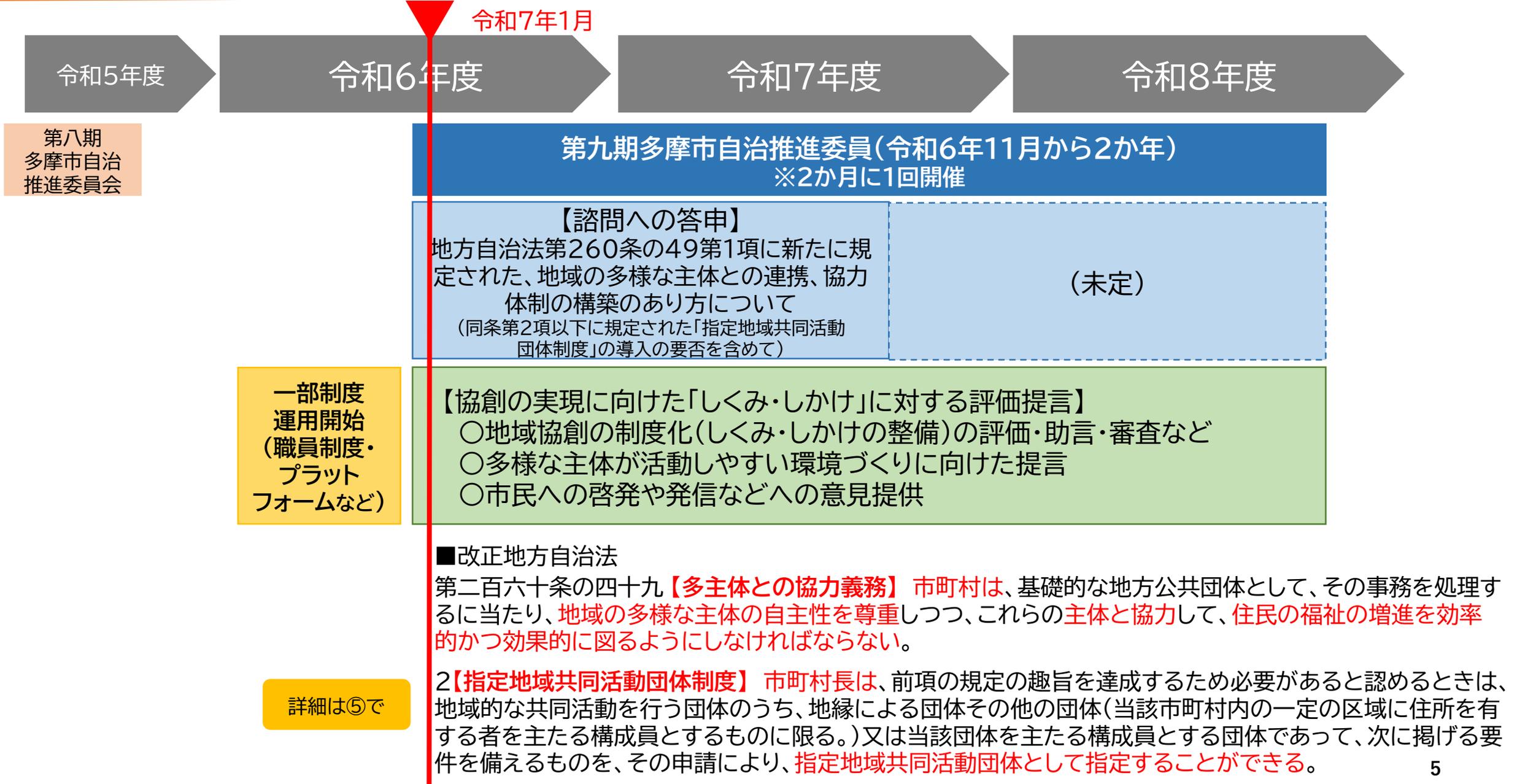
<公募市民>

- 1 白鳥 光洋 【◎委員長】
- 2 和田 あずみ



11月15日第1回開催
⇒次回1月24日

① 自治推進委員会について



② 市民への周知について

3月 4月

4/1号広報

○組織改正の内容

組織改正

条例改正

7/5号広報

○取組みの紹介
○条例改正の内容

8月

▲8/1 自治基本条例施行20周年

8/5号広報

図書館展示 8/2-9/1

10/5号広報

○取組みの紹介
(エリアミーティングなど)

1月～

令和7年1月

1/1号広報

○協創サポーター
○第九期自治推進委員会

4/1号広報

2月1日開催予定

条例20周年
協創フォーラム

「多摩市自治基本条例施行20年の
あゆみとこれらについて考える」
対談・活動展示形式



- 条例改正
- 取組みや人物紹介
- 活動告知



(昨年開催時の様子) 6

② 市民への周知について

協創フォーラム

日時：2/1(土) 14時～16時

会場：中央図書館 活動室1

【対談】「多摩市自治基本条例策定と
できてから20年の変化」
阿部市長と白鳥氏(第九期自治推進委員会委員長)

【活動報告】市や活動者からの活動報告

各エリアでの活動実践の紹介

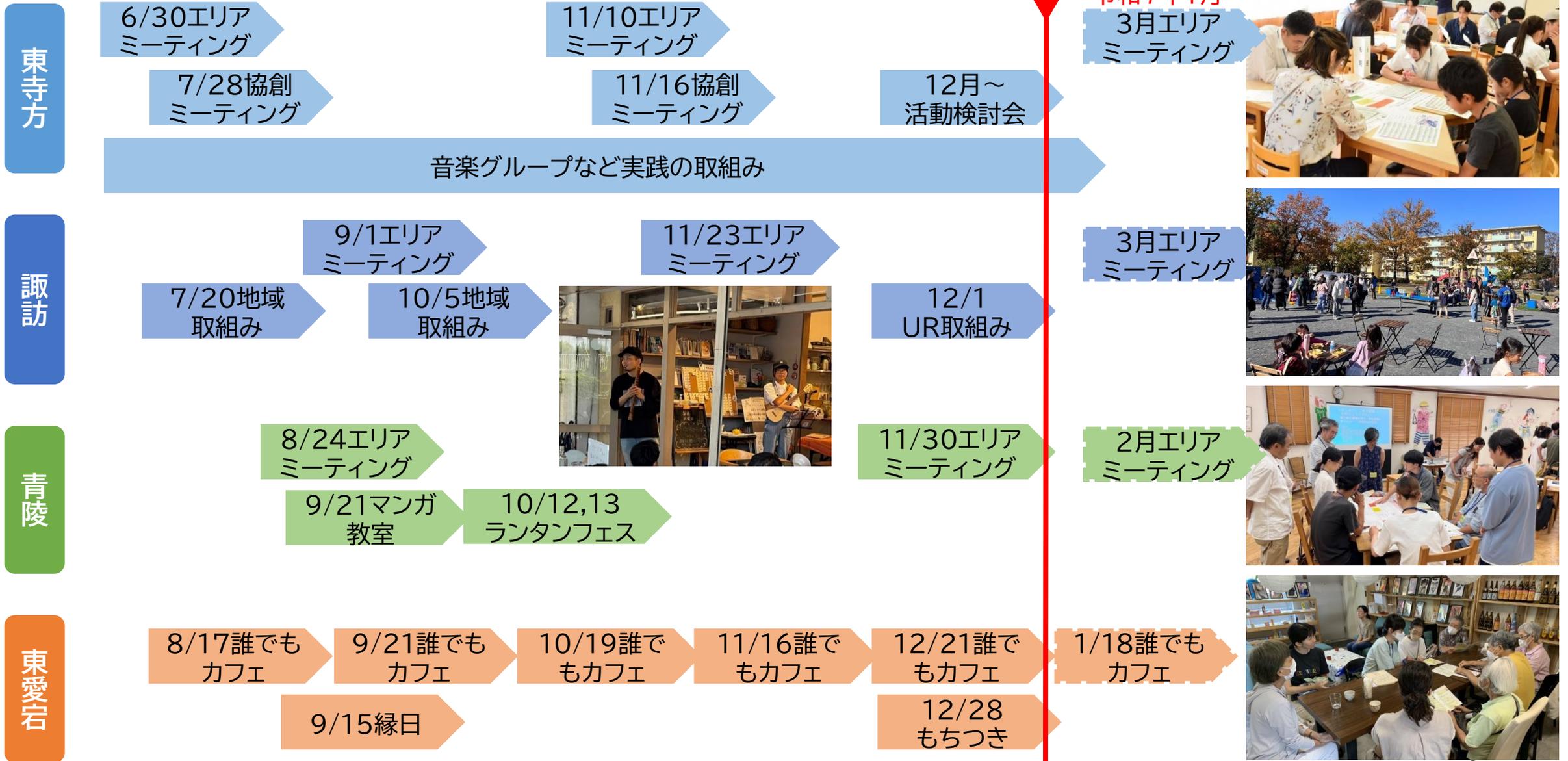
【対話】(終了後) 来場者と発表者の懇談

16時以降、パネル展示と対話

※告知は、1月1日広報や市内掲示板など



③ 各エリアでの取組みについて



④ 職員向けの取組みについて

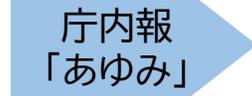
3月 4月

8月

令和7年1月



…(毎月末発行)



内容や構成に高評価⇒来年も実施の方向



組織改正

研修

新任研修

- ・新入職員
- ・新任管理職
- ・新任係長

協創研修

8/27
ファシリテーション研修
30名参加

条例改正

協創サポーター

17名

協創サポーター(公募)

令和7年度～

協創サポーター(事務従事)

10月から
試行スタート

協創サポーター(2年目研修)

36名

新任フォロー研修(地域実習)

新任フォロー研修(地域実習)

④ 職員向けの取組みについて

■協創職員制度

- 協創スタッフ（専任職員）
- 協創サポーター（若手職員の研修）
- 協創シニアサポーター（ベテラン職員の活用）



地域みなさんと一緒に活動して、今後活かせるスキルやネットワークを得る

- 協創スタッフ（R6.4協創推進室設置）
- 協創サポーター（R6.10～試行）

■協創スタッフとしての職務内容

- 地域を**支える**（≒アドバイス）
 - 分野横断的な行政側の窓口、情報の収集・提供
 - 関係課と地域との橋渡し、庁内調整
- 地域を**つなぐ**（≒コーディネート）
 - 地域の会議に参加し、関係づくり
 - 団体間、人同士をつなぎ、ネットワーク形成
- 地域の中で**掘り起こす**（≒プロデュース）
 - エリアミーティングの開催等で新たな人材発掘
 - 地域カルテ、地域ビジョンの策定を通じた人づくり

■協創サポーター研修制度（若手職員）

- 若手職員の研修として、地域のイベントや事業への参加、支援を通じて、市の職員としてのスキルアップ、能力育成を図る
（コミュニケーション能力、ファシリテーション能力）
⇒令和6年度は公募職員による試行（11課17名）
⇒令和7年度は2年目全職員（本年度1年目36名）

●協創シニアサポーター（構想中）

- 役職定年を迎えた管理職経験職員のキャリアを地域で活用検討



組織で得たスキルやネットワークを地域に活用して協創の実現に貢献

④ 職員向けの取組みについて

若手職員に向けた「協創サポーター研修制度」の検討

全体イメージ		R6	R7	R8	R9
試行 R5以前 入庁 		【協創サポーター】 公募 事務従事 (年4回程度)	【協創サポーター】 (希望者継続) 事務従事	<各自業務外> 自己研鑽	<各自業務外> 自己研鑽
本格実施 R6入庁 		<地域実習> 新任フォロー研修 現場体験(講義、現場1日、ふり返し)	【協創サポーター】 悉皆研修 (年4回程度)	【協創サポーター】 (希望者継続) 事務従事	<各自業務外> 自己研鑽
R7入庁 	<div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 10月から 試行スタート </div>	<地域実習> 新任フォロー研修 現場体験(講義、現場1日、ふり返し)	【協創サポーター】 悉皆研修 (年4回程度)	【協創サポーター】 (希望者継続) 事務従事	【協創サポーター】 (希望者継続) 事務従事

R6年度は試行
協創推進室に事務従事
↓
年度内に
サポーター制度を内規に

R7年度から制度化
2年目職員と希望継続者を
「協創サポーター」に任命



メインでサポーター活動する部分
協創推進室職員の伴走のもと活動

④ 職員向けの取組みについて

協創サポーター(公募)

(10月～公募 11課17名の若手職員)

ランタンフェス



東寺方秋まつり



地域イベントや
エリアミーティング等
に参加

菖蒲館まつり



参加できてとてもうれしかった

地域の方から自然に話しかけられ
コミュニケーションを取れて大変良かった。

普段の業務では経験しない場であったため、新鮮で楽しかった

参加市民の多摩市を一緒によりよくしていこうという前向き
な意見を聞くことができてよかった。

⇒ 普段の仕事や職場にフィードバックを目指す
※年度末に活動振り返り機会を設ける

1月末にサポーター同士で振り返り
3月に1年目とサポーター

④ 職員向けの取組みについて

協創サポーター(公募)

参加事業

※17人で30行事に61回参加(1人平均3.59回)

実施日	イベント	参加人数
10月12日 土	ランタンフェス①(お子さん向けの塗り絵ブース) かるがも館まつり①	2名 1名
10月13日 日	ランタンフェス②(お子さん向けの塗り絵ブース) かるがも館まつり②(御用聞きイベント)	3名 1名
10月18日 金	東寺方秋まつり(前日準備) からきだ菖蒲館まつり(前日準備)	1名 3名
10月19日 土	東寺方秋まつり	2名
10月20日 日	からきだ菖蒲館まつり(後片付け)	4名
10月26日 土	つむぎ館まつり①	2名
11月1日 金	トムハウスまつり(前日準備)	2名
11月2日 土	トムハウスまつり① ひじり館まつり①	1名 3名
11月3日 日	ひじり館まつり②	2名
11月9日 土	ヨムカムマルシェ「防災とアウトドア」 (きずな全体会72hゲーム)	1名
11月10日 日	東寺方エリアミーティング	2名
11月16日 土	誰でもカフェあたご(認知症カフェ) こぶし館まつり(準備)	2名 2名
11月17日 日	こぶし館まつり(御用聞きイベント)	3名
11月22日 金	若者会議 ワークショップ	1名
11月23日 土	諏訪中エリアミーティング スポレク準備(夕方から)	1名 3名
11月24日 日	スポレク キタカイさんぽ館フェスタ	5名 1名
11月30日 土	青陵中エリアミーティング	1名
12月7日 土	多摩大聖高校街なか期末テスト	3名
12月14日 土	スターライトバルコニー(公) わがまち学習講座②	2名 1名
12月18日 水	TFPP(高)	1名
12月21日 土	誰でもカフェあたご(認知症カフェ) わがまち学習講座③	4名 2名

東寺方秋まつり



きずな全体会72hゲーム



スポレク



東寺方秋まつり



かるがも館まつり



こぶし館まつり



多摩大聖高校街なか期末テスト



東寺方エリアミーティング



誰でもカフェあたご



④ 職員向けの取組みについて

新任フォロー研修(地域実習) (11月～35名)

講義と1日実習

児童館・公民館・友愛訪問・エリアミーティングなど (それぞれ1日)

11/7 中央図書館での講義



	行先	人数
1	各児童館 11/13～12/3	14名
2	民生委員友愛訪問 11/12～11/28	4名
3	高齢支援課TFPP 11/13～11/27	7名
4	公民館 12/6What's Jazz 12/13Vitaコンサート	5名
5	エリアミーティング 11/9東寺方 11/23諏訪 11/30青陵中	5名

受講者の声

- ・今後の多摩市職員キャリアにとって**運営側として参加した経験はとても重要**になると感じました。
- ・協創実習という言葉から当初は堅いイメージがあったが、実際に参加したら**市民の方と気軽にコミュニケーション**を取ることが出来たので、明るく楽しいイメージへと変わった。
- ・今回のように実際に市民の方と触れ合うような体験(実習)があることによって、**市職員として市民のために仕事を**するという認識をさらに高めることが出来たと思うので、個人的には今後も続けていってほしいと思う。
- ・1日では体験できることが限られるので、もう少し事前に学習する時間があるとよかった。活動日にある程度自由が利くとよい。

ご一緒された市民の声

民生委員友愛訪問



若い方の訪問で、訪問される側も新鮮で話がしやすかった。民生委員の活動を知ってもらうのは重要

諏訪エリアミーティング



ボランティアで地域の活動に携わる原動力や喜びが伝わると嬉しい。

⑤ その他

(1) 「市民参画の手引き」更新【共有】

○10月末に更新版を全庁に周知

○主な修正箇所

- ① コロナ禍を踏まえたオンライン対応
- ② パブコメ投函場所（図書館本館⇒中央図書館、聖蹟桜ヶ丘駅出張所⇒関戸公民館）
- ③ 障がい者への合理的配慮
- ④ 審議会・懇談会の法令に沿った運用ガイド
- ⑤ 組織変更対応（企画課⇒協創推進室）

(2) 改正地方自治法の施行【共有】

詳細は参考資料

○9/26に施行

○指定地域共同活動団体制度

今後、情報収集や多摩市での適用要否について、自治推進委員会にて協議予定（令和7年11月に答申受領予定）

令和7年11月(予定)

■協議スケジュール

